

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和2年 3月 23日

事業所名

尾道発達相談・

療育支援センターあづみ園

保護者等数(児童数)50名

割合 75.5%

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	84%	10%	2%	2%	2%	・園庭は狭いかなと思っていましたが、運動会後十分だと感じた。 ・プレイルームが狭い。	・集団活動を行い、死角のない目の行き届く空間であり、法令を遵守したスペースを確保しています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	78%	19%	0%	0%	0%	・もう少し職員の数が多いほうが良い。 ・身辺自立に多くの助けが必要なクラスには配置を増やしてほしい。 ・個別指導を増やしてほしい。 ・配置人数、専門性は適切で良いと思う。	・国の定める人員配置基準以上の配置は行っています。 ・保育士、公認心理士、言語聴覚士、音楽療法士など専門性を備えたスタッフの配置をしています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	95%	5%	0%	0%	0%	・各指導室に鍵がかかっていることに驚いた。 ・とてもよく配慮されている。 ・お片付けや帰りの会の準備が苦手な子のために、パッと見てわかるボックスの作成されている。	・指導室や門にある鍵は、子どもの安全確保のために設置してあります。 ・子どもの課題に応じた支援グッズや視覚提示を行っています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	92%	8%	0%	0%	0%	・職員が掃除をしたお陰で心地よく過ごせています。 ・常に衛生面であったり気配りや環境はと整えられています。 ・コミュニケーションの取り方を学ばせたかったが、クラスで話せる子が1~2人で子ども同士のコミュニケーションが少ないと感じた。	・清掃や消毒等、衛生管理を毎日行っています。 ・個別の課題に応じたクラス分けをしています。
適切な支援の	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	95%	5%	0%	0%	0%	・かなり細かく分析され(時に専門用語が分からないこともあるが)親にもわかりやすいと思います。 ・計画はされているが、計画に沿って療育ができていないかは分からない。	・児童発達支援計画は、保護者の方と懇談をした上で、子どもの課題に対し多職種でアセスメントを行っています。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	95%	5%	0%	0%	0%	・パーフェクトにやられていると思います。	・年長児保護者の方に限定せず、就学先決定、入学前後の園と関係機関等の連携を行うスケジュールをお知らせできる機会(学習会等)を設けていきます。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	95%	5%	0%	0%	0%	・常に行われていると思います。 ・行き過ぎと感じる指導が見られ、不信感がある時がある。 ・職員によっては、言葉使いが気になる。	・保護者の方に納得していただけのよう計画の説明や日々の療育内容を具体的に説明できるように努めてまいります。 ・職員の配慮が至らずご不安な思いをさせてしまい申し訳ありません。職員の指導に努めます。

提供	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%	0%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・常にいろいろとチャレンジして良いです。 ・外出活動を多く計画されている。 ・園外活動を積極的に取り入れた社会に繋がる療育をしていると思う。 ・今年は特にとても工夫された色んな活動をさせてもらいました。 ・家庭ではなかなかできないこと(とんど、もちつき、そうめん流し)をさせてもらいとても良い体験になっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も子どもたちが楽しい経験ができるように発達に沿って四季折々の活動や行事を検討して参ります。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	22%	22%	24%	32%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたことがない。 ・年相応の刺激があるので、健常児さんとの交流はあってほしい。 ・兄弟児や家族は交流する機会がある。 ・園外の子とも達と遊んだと聞いたことがなかったので、分かりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の保育所、幼稚園、併行児さんと交流できる機会ができるように検討していきます。 ・同法人内での事業所間交流を引き続き行っていきます。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	89%	8%	0%	3%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時、契約時により丁寧な説明を心がけていきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	97%	0%	0%	3%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・常にされています。 ・入園時にされていたかよく覚えていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画は、保護者の方との面談を基に作成しておりますが、保護者の方に説明と確認が十分できていませんでした。今後は、作成後の説明や確認をして頂き、変更等の申し出がありましたら修正させていただきます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	84%	8%	3%	5%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアトレは全て参加できる方のみとなっていたため参加できなかった。 ・日程の関係で参加できなかった。日程が決まっており、仕事をしていると参加が難しい。 ・参加させていただいたがとても勉強になりました 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、園側の日程で行いましたが、アンケート等事前に保護者の方の要望を基に調整をし、参加していただけるよう検討して参ります。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	89%	11%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員も保護者側も良いこと・悪いことと言うか困ったことを伝え合っている。理解もしているつもりです。 ・バスの迎え時が担任の先生の時くらいしか話ができない。課題は理解している。 ・バス利用のためどうしても話す機会が少ないので伝えきれないこともあるが、相談したことにはとてもよく考えていただいている。 ・バス通園のため、職員と話せる機会は少ないと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別のご希望に応じて対応させていただきます。
	⑭	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	97%	3%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・面談、こちらからお時間作ってくださいの声にも応えて下さったり、助言もよく頂きます。 ・個別指導の時に話をしている。面談は半年に1回位している。 ・個別指導の後や電話などで相談を聞いてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めの家庭訪問、年2回の個人懇談、個別指導後のフィードバックを行っています。

	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	62%	9	0%	4	3%	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎で会う保護者さんとは話はするが、連携まではしないです。 ・役員になると保護者同士のコミュニケーションが取れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お父さんの会を数回実施しました。 ・親子活動後など茶話会など保護者同士の交流の機会を検討して参ります
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	89%	8%	0%	0%	3%	<ul style="list-style-type: none"> ・困ったことなど、聞いてもらい対処法など教えてもらい助かっています。 ・相談したことについては、すぐに対応して下さって助かっています。 ・気になることがあれば電話をしている。なかなか電話はしにくいです。 ・迅速で適切です。お忙しいのにこちらからの申し出を聞いて頂くこともして頂きました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者の方と一緒に子どもたちの支援について考えていきたいを思います。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	86%	8%	3%	0%	3%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が忙しそうだったり、私のほうから伝えるのを遅れたりしている。 ・バス利用のためなかなか職員と話す機会がない。 ・常に良くされていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス経路が複数あるため、必ず担当職員が添乗できません。個別に相談していただき対応して参ります。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	84%	5%	0%	8%	3%	<ul style="list-style-type: none"> ・発信はいつもたくさんして頂いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行事予定をお知らせしています。変更時は、早めにお知らせできるよう努めます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	95%	0%	0%	3%	3%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回(行事・発表会)言われているので、とても良いと思いました。 ・逆にやりすぎではと思うほど徹底されている。 	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	78%	3%	0%	14%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練は子どもたちが避難訓練をしていることしかわかりません。 ・避難訓練は毎月してくれているのは知っているが、他についてはあまり知らないかもしれません。 ・見たことはありませんが、声が聞こえて実施されていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時に配布しました利用にあたり冊子の中に避難場所や災害時の連絡方法等記載してあります。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	86%	0%	0%	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練をして頂きありがたい。 ・子どもの方はしっかりできていても。親が知らないことあるので何か出来たらいいなと思う。 ・やっているのを見かけます。安心して預けることができます。とても信頼しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回様々な場面(火災・地震・不審者等)を想定し、実施しています。
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	86%	11%	0%	0%	3%	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみにしているときとそうでない時がありますが、そうでない時も行くといいようです。 ・園に行く「楽しかった」と言うが、バスに乗るまでぐずっています。 ・気分次第だけど、その日にあった出来事を楽しそうに話してくれます。 ・行かないといけないと思っているようだが休みの日はやはり嬉しそうに「やったー」といっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが「楽しい」と思って利用していただけることに、職員一同大変うれしく思い、励みになります。今後も笑顔で通園していただけるよう

満足度	⑬ 事業所の支援に満足しているか	84%	11%	0%	3%	3%	<ul style="list-style-type: none"> ・同法人内の事業所(併行通園)と毎日通園では、身につくことも多く、行事も異なり楽しく満足です。 ・役員になると、職場へ迷惑をかけ、仕事との両立が難しかった。また下の子の保育所が勤務時間が足りず市から指摘された。 ・少しずつだが、できることが増えてきているので、通園できて良かった。 ・支援は満足だが、延長保育や土曜日の受け入れをしてほしい。 ・心理、言語の回数を増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方や、通園している子どもの立場に立ち、要望、期待に最大限応えられるよう努めていきます。
-----	------------------	-----	-----	----	----	----	---	--

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年3月31日
職員15名に配布 14名回収 回収率93%

事業所名

尾道発達相談・療育支援
センターあづみ園

		チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	86%	14%		・クラスだけでなく、プレイルームを活用している。	
	②	職員の配置数は適切である	36%	64%		・活動によっては専門職などが入り、安全を確保している。	・配置基準は満たしているの で、職員の動きなどを再検討 する。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	79%	21%		・必要などころには視覚支援を行っている。	・クラスと職員室間の連絡が取りにくい。内線設備等の検討が必要。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	93%	7%		・通常時は1日1回の消毒を実施。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	71%	29%		・各職種を集めての情報交換及び支援検討会議を実施。	・引き続き行っていきます
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	86%	14%		・事業所評価及び行事等でアンケートを配布している。	・評価を基に職員で話し合い質の向上を図れるようにしていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	86%	14%		・HP上で評価結果を公表している。	・今後、園便り等での紙媒体での配布も検討。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	50%			現在、第3者評価未受審。今後検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	93%	7%		・月に1回の職員研修 ・年6回程度の法人講演会の開催 ・新任研修 ・幹部職員研修	・外部への研修機会が少ないため、今後外部研修、関連団体への参加など、検討していきたい。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0		・発達検査、知能検査の実施 ・要望を把握するため個人懇談を実施。	

適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している	86%	14%		<ul style="list-style-type: none"> 発達検査、知能検査の実施 園独自のアセスメントシートの活用。 	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	86%	14%			<ul style="list-style-type: none"> 引き続きガイドラインを確認しながら、支援計画に反映出来るようにしていきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		<ul style="list-style-type: none"> 療育計画を個別の状況に応じて細分化している。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の計画が把握しやすいよう一覧にしている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	79%	21%		<ul style="list-style-type: none"> 現状、担当者が作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数意見が反映するよう、話し合いの場を検討していきたい。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> 書籍の購入、定期購読等で新しい遊びなどの情報を収集している。 	<ul style="list-style-type: none"> 他事業所の見学等、情報収集の手段を増やしていきたい。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	93%	7		<ul style="list-style-type: none"> 個別の部分は専門職、集団の部分は保育が作成。それぞれの視点から作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子の状況に応じて作成していきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	71%	29%		<ul style="list-style-type: none"> 前日及び当日朝礼までに内容の確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の業務で打合せが難しい場合がある。必ず行うという意識改革が必要。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	71%	29%			<ul style="list-style-type: none"> 他の業務で打合せが難しい場合がある。必ず行うという意識改革が必要。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子や支援内容を記録。他の職員も閲覧することが可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子どもの様子や支援した内容を記録していきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	93%	7%		<ul style="list-style-type: none"> 年に2回のモニタリングやカンファレンスで子の状況の確認をしている 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きモニタリングやカンファレンス、送迎時での話を計画に反映していきます。
見直し	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	86%	14%		<ul style="list-style-type: none"> 児童発達管理責任者が参加。必要に応じて担任の参加。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議の結果を職員で共有できるようにしたい。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	71%	21%	8%	<ul style="list-style-type: none"> 保健師との連携。 カンファレンスへの保育所職員、教育委員会の参加 	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				現在利用なし	現在利用なし

関係機関や保護者との連携	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	/	現在利用なし	現在利用なし
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	86%	14%		<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスに参加してもらい、情報共有をおこなっている。 ・園での様子を見学してもらっている。 	
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	79%	21%		<ul style="list-style-type: none"> ・就学前の学校訪問の実施。 ・保幼小の連携会議への出席 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学校と情報共有を行い、支援につなげていきます。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	64%	36%		<ul style="list-style-type: none"> ・大学や他機関からの講師を派遣および実地指導。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導内容の集約、集積が課題。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・現状ではありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の保育所等との合同の行事等を企画したい。
保護者	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	36%	50%	14%	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者および児童発達支援管理責任者が参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議内容の職員への周知を徹底したい。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時、親子活動、個別指導、カンファレンス、懇談児を利用し、子の状況を伝える。 ・会えない保護者には、電話や手紙を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、おこない。保護者と状況の共有が出来るようにしていきます。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	79%	21%		<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングを2クール実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーナーの養成
	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	50%	50%		<ul style="list-style-type: none"> ・口頭と書面にて計焼き氏及び変更時に説明を実施。 	
保護者	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	86%	14%		<ul style="list-style-type: none"> ・作成した計画は、保護者同席のもとで説明し同意を得て、捺印をいただいている。 	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	93%	7%		<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導時に対応するとともに随時、相談を受けつけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容の記録が不十分。検討していきたい。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	71%	29%		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会主催行事への支援。 	

への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	93%	7%		<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口を設定。 苦情受付担当職員を設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 記録が不十分
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	79%	21%		<ul style="list-style-type: none"> 月に1回、園だよりやクラスだよりを配布。 年3回広報誌の発行。 	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	86%	14%		<ul style="list-style-type: none"> 法人全体の共有サーバーへのデータ保管。 電磁的記録媒体の使用禁止。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、慎重に取り扱っていきます。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	93%	7%		<ul style="list-style-type: none"> 写真や文字を使用した資料作成、伝達方法の実施。 	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	29%	71%		<ul style="list-style-type: none"> 児童による高齢者施設の訪問を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所に招待する活動は難しいと考えています。
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している	79%	21%		<ul style="list-style-type: none"> 各種マニュアルを作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み込みと理解が不十分。作成したにとどまっているので、理解を深める取り組みを実施したい。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	93%	7%		<ul style="list-style-type: none"> 月1回実施。火災、地震等災害別に訓練を設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣施設との連携ができるように訓練を計画したい。
	④③	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	86%	14%		<ul style="list-style-type: none"> 利用開始時に保護者より聞き取りを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 記録の職員間での共有を徹底したい。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		<ul style="list-style-type: none"> 事前に医師の指示書を提出してもらっている 	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	57%	43%			<ul style="list-style-type: none"> ファイリングはしてあるが全体での共有の時間が少ないので、全体共有の場を設けていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	93%	7%		<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止、権利擁護を職員研修のテーマに取り入れている 	<ul style="list-style-type: none"> 継続しおこなっていきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	50%	36%	14%		<ul style="list-style-type: none"> 現在はないが、状況に応じて実施する場合は適切な対応をおこなっていきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。